



## 私の3冊

鈴木徹也

### 後輩に薦める 2冊

小林 賢（編）

新人3年目までに身につけたい 実践！ 理学療法スキル

医歯薬出版，2010 年発行

新人から3年目くらいまでに身につけておきたい理学療法スキルを，ステップアップさせていく道筋が示されています．社会人としての心得から，臨床での実践，さらに研究や後輩指導などの内容が網羅されており，若手理学療法士がぶつかりがちな悩みの解消に役立つのではないのでしょうか．学生時代の知識を中心とした教科書から，臨床の疑問や実践に応える教科書への橋渡しとしてもお勧めします．

月城慶一／山本澄子／江原義弘／盆子原秀三（訳）

観察による歩行分析 医学書院，2005 年発行

歩行分析が苦手な私を救ってくれた歩行分析の入門書です．本書は歩行を各周期に分けて細かく丁寧に説明されているので，歩行分析における視点を増やすことができます．歩行分析に苦手意識を持つ新人の方は，まずは本書で正常歩行についての理解を深めることをお勧めします．正常歩行を理解すれば自ずと問題点も浮かび上がり，それがアプローチのヒントとなり臨床能力を一歩進めることができます．

### 自分の 1冊

岩崎 洋（編）

脊髄損傷理学療法マニュアル 第2版 文光堂，2014 年発行

私が一番わかりやすいと感じた脊髄損傷理学療法の教科書です．図やイラストが多く，説明文もポイントが絞られていて，非常にわかりやすいです．私は脊髄腫瘍術後患者を担当することが多いのですが，術後の症状は腫瘍の部位や種類によりさまざまです．本書は脊髄腫瘍全般について書かれていますが，完全麻痺はもちろん不全麻痺の理学療法についても詳しいので，とても参考になります．

■ すすき・てつや 理学療法士 10 年目 慶應義塾大学病院リハビリテーション科

急性期患者（脳卒中，整形外科術後，がんなど）を担当することが主体ですが，当院は大学病院なので対象疾患はその他にも多岐にわたります．そのため，教科書もさまざまな分野のものを参考にしてきました．現在は，脊髄腫瘍，造血幹細胞移植のプロジェクトチームに所属しており，がんのリハビリテーションを行う機会が増えています．